

令和 6 年度

岡 山 市 立 富 山 小 学 校 プ ー ル 長 寿 命 化 改 修 に 伴 う 機 械 設 備 工 事

図 面 リ ス ト

図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺	備 考
M- 0 0	表 紙 ・ 図 面 リ ス ト	_____	
M- 0 1	建 築 設 備 工 事 （ 機 械 ） 仕 様 書	_____	
M- 0 2	配 置 図 ・ 付 近 見 取 図 ・ 工 事 区 分 表	1 : 5 0 0 ・ 1 : 2 5 0 0	
M- 0 3	改 修 後 排 水 柵 リ ス ト 、 部 分 詳 細 図	1 : 5 0 ・ 1 : 3 0 ・ 1 : 2 0	
M- 0 4	改 修 後 プ ー ル 配 管 平 面 図	1 : 1 0 0	
M- 0 5	改 修 後 プ ー ル 付 属 棟 配 管 詳 細 図 ・ 衛 生 器 具 表	1 : 5 0	
M- 0 6	改 修 前 プ ー ル 配 管 平 面 図	1 : 1 0 0	
M- 0 7	改 修 前 付 属 棟 配 管 詳 細 図	1 : 5 0	
M- 0 8	機 械 室 改 修 詳 細 図	1 : 3 0	
M- 0 9	系 統 図 ・ ろ 過 機 ほか 機 器 表	_____	

工 事 名		岡山市立富山小学校プール長寿命化改修に伴う機械設備工事				No.		
図面名		表 紙 ・ 図 面 リ ス ト		縮尺		A-1 原図 A-3		
		岡山市都市整備局住宅・建築部 公共建築課		令和6年2月		株式会社 建築倶楽部 岡山県知事登録 第 12968 号 一級建築士 国土交通大臣登録 第 382854 号 林 悠太		
建 築	担当課長	課長補佐	係長	課員	担当者			
設 備	担当課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

岡山県

岡山県立立山小学校

長寿化修成に伴う機械設備工事

No.

図面名

建築設備工事（機械）仕様書

A-1
A-3

岡山市都市整備局住宅・建築部

公共建築課

令和6年2月

株式会社 建築倶楽部

岡山県知事登録 第 12868 号

一級建築士

国土交通大臣登録 第 382854 号

林 悠太

担当課長

課長補佐

係長

課員

担当者

承認

検印

製図

担当課長

課長補佐

係長

課員

担当者

承認

検印

製図

工事名

岡山県立立山小学校・長寿化修成に伴う機械設備工事

No.

図面名

建築設備工事（機械）仕様書

A-1
A-3

岡山市都市整備局住宅・建築部

公共建築課

令和6年2月

株式会社 建築倶楽部

岡山県知事登録 第 12868 号

一級建築士

国土交通大臣登録 第 382854 号

林 悠太

担当課長

課長補佐

係長

課員

担当者

承認

検印

製図

担当課長

課長補佐

係長

課員

担当者

承認

検印

製図

1 屋内面出及び機械室、倉庫、書庫の配管にはバンド・束帯を取付けること。

2 水槽類は特記のある場合のみ保温を行う。

3 建築基準法施行令第129条の2第1項第7号に該当する防火区画などを貫通する給排水管及び通気管並びに消火管は貫通する部分及び前後1,000mmをロックウール保温材にて保温を施すか、建設省告示第1422号（平成12年）又は国土交通大臣認定の方法を適用すること。

備考

1 屋内面出及び機械室、倉庫、書庫の配管にはバンド・束帯を取付けること。

2 水槽類は特記のある場合のみ保温を行う。

3 建築基準法施行令第129条の2第1項第7号に該当する防火区画などを貫通する給排水管及び通気管並びに消火管は貫通する部分及び前後1,000mmをロックウール保温材にて保温を施すか、建設省告示第1422号（平成12年）又は国土交通大臣認定の方法を適用すること。

備考

1 衛生器具設備

2 洗面タンク

3 洗面タンク固定金具

4 大便器用洗浄弁

5 温水洗浄便座

6 陶器の色

1 大便器・小便器

2 洗面タンク

3 洗面タンク固定金具

4 大便器用洗浄弁

5 温水洗浄便座

6 陶器の色

1 量水器

2 量水器類

3 管

1 量水器

2 量水器類

3 管

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

14 ロックウール

15 グラスウール

16 屋内露出

17 倉庫、倉庫の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に該当する。

18 屋外設置機器の外装仕上げは

19 ステンレス鋼板

20 溶融78℃以上亜鉛鋼板

21 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは

22 ステンレス鋼板

23 溶融78℃以上亜鉛鋼板

24 屋内配管の外装仕上げは

25 着色78℃以上750℃

26 保温なし

27 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

備考

1 給排水、通気、ろ過循環

2 ポリスチレンフォーム

3 グラスウール

4 給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等

5 グラスウール

6 消火管

7 ロックウール

8 ポリスチレンフォーム

9 排気筒

10 煙突

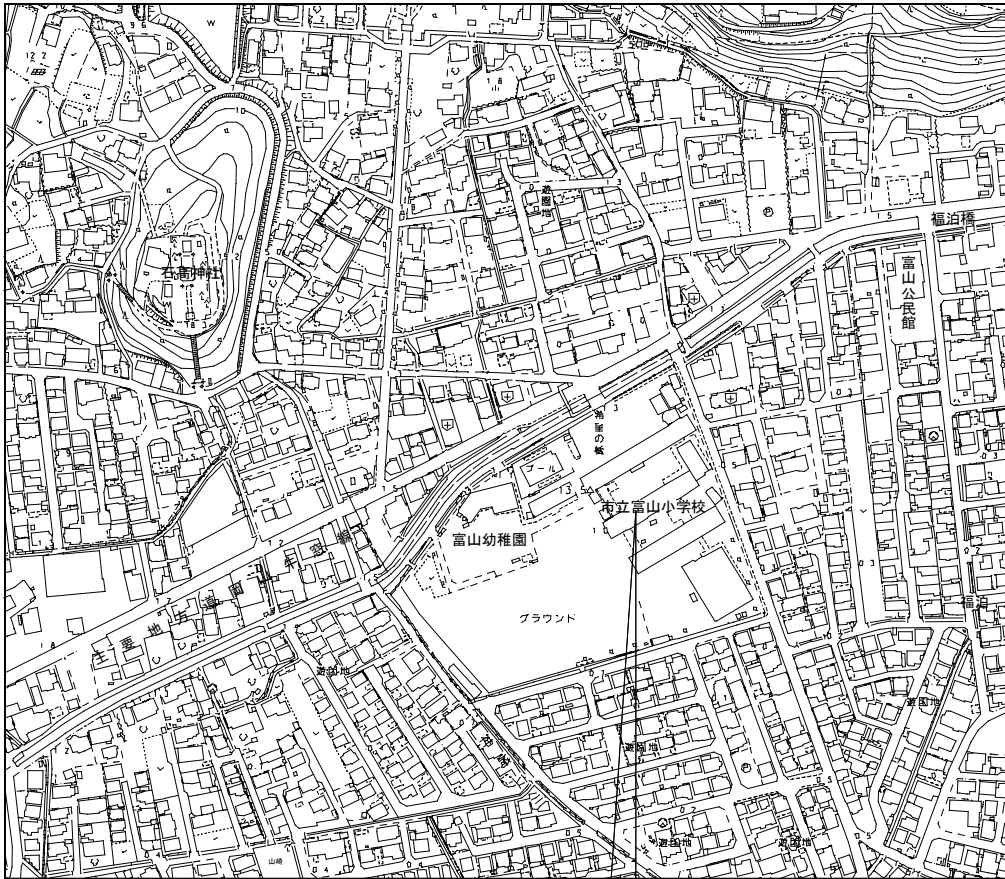
11 空気調和設備、ダクト

12 グラスウール

13 排煙ダクト

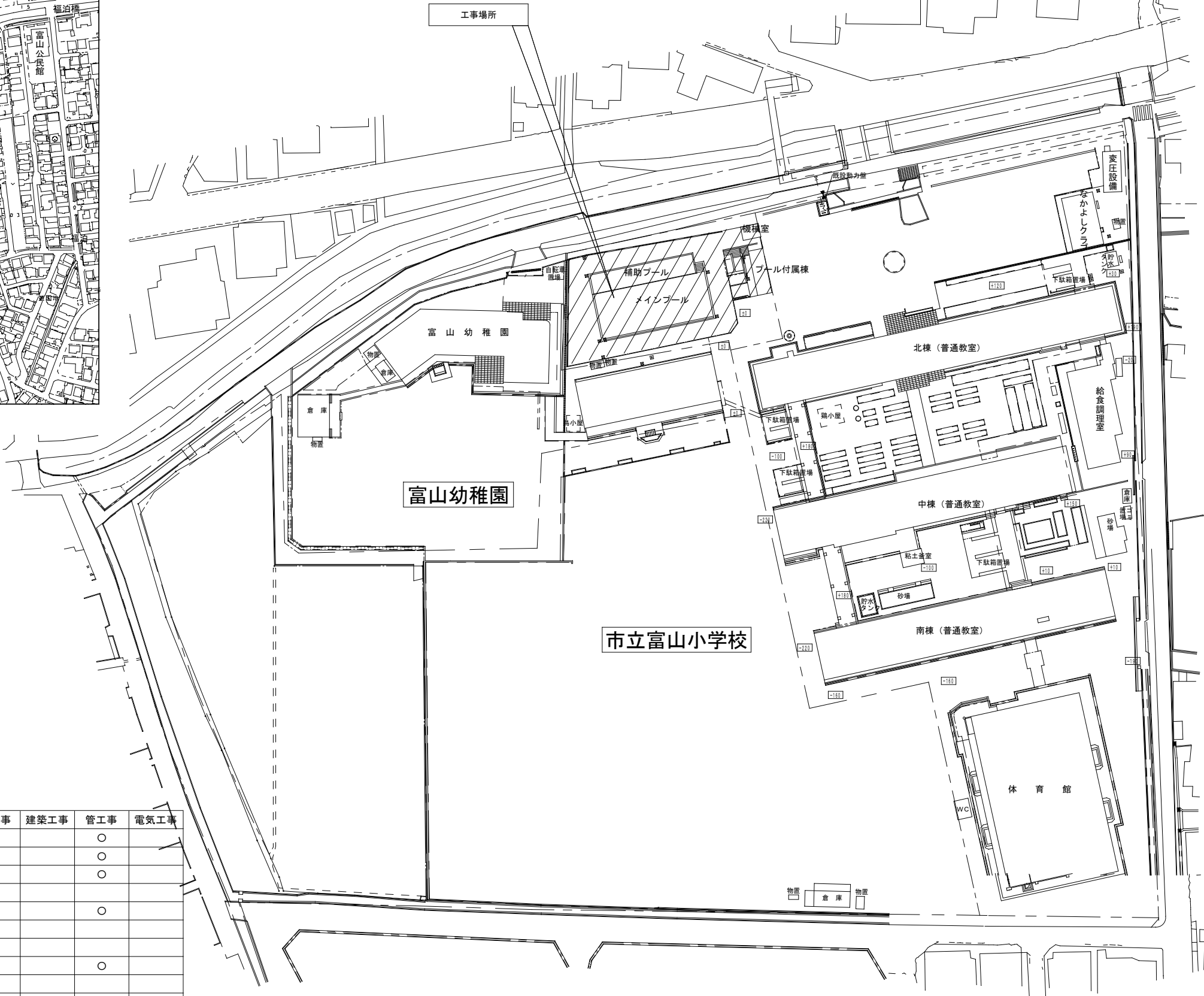
14 ロックウール

15 グラスウ



市立富山小学校
岡山市中区福治2 3 3番地

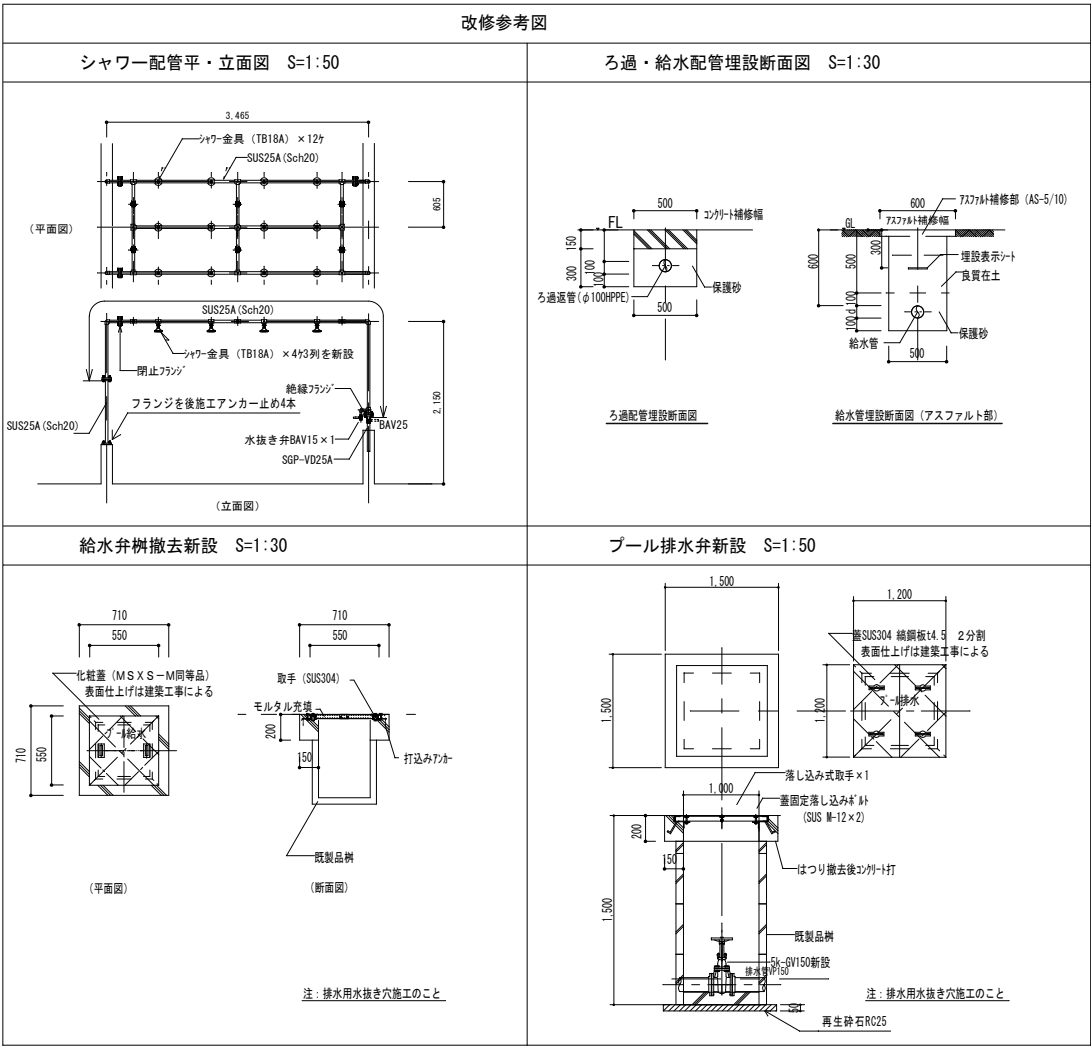
付近見取図 S=1/2500



工事区分表				
工種	プール本体工事	建築工事	管工事	電気工事
プール接続フランジ以降の配管及び配管サポート			○	
プール接続フランジのパッキン、取付ボルト			○	
プール接続フランジ以降の配管内の切粉清掃			○	
濾過水の循環給水口フランジから末端吹出し口までの水路	○			
濾過水の循環給水口フランジからろ過機までの配管			○	
循環ノズル	○			
プール底排水樹から排水管接続フランジまで	○			
プール排水管接続フランジから既設汚水樹までの排水配管			○	
プール補給給水口及びフランジ	○			
プール補給給水口フランジから、直圧給水管までの給水管			○	
ろ過機の撤去更新（制御盤共）			○	
ろ過機の電気工事（図示のとおり）				○
濾過循環配管、給水管、プールオーバーフロー排水の既設土間はつり、復旧		○		
同上の土間下土工事			○	
循環流量調整	○			

配置図 S=1/500

工事名		岡山市立富山小学校プール長寿命化改修に伴う機械設備工事 No.				M-02		
図面名		配置図・付近見取図・工事区分表 縮尺 A-1 1/350, 2500 A-3 1/1000, 5000						
岡山市都市整備局住宅・建築部 公共建築課		令和6年2月				株式会社 建築倶楽部		
建築	担当課長	課長補佐	係長	課員	担当者	岡山県知事登録 第 12868 号		
						一級建築士 国土交通大臣登録 第 382854 号		
設備	担当課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



改修後樹リスト

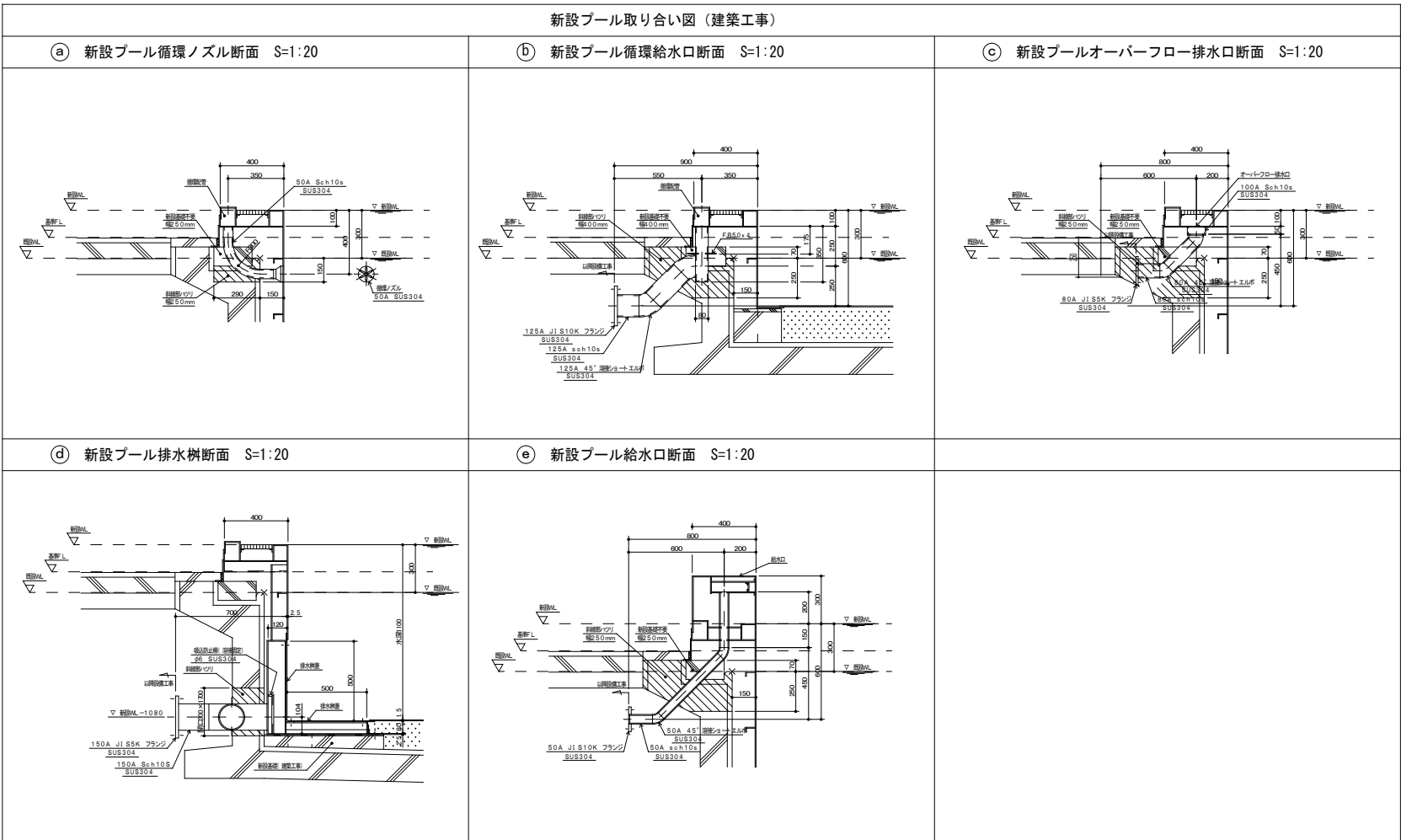
改修後排水樹は、本工事とする。

記号	用途	名称	蓋	サイズ	樹深さ	既設FL基準 管底	工事
A	プールサイド雨水排水	既製品ため樹	コンクリート蓋	450 x 450	450H	不明	現況のまま
B	プールサイドオーバーフロー汚水	既製品ため樹	化粧蓋	450 x 450	450H	290	撤去新設
C	プールサイドオーバーフロー汚水	既製品ため樹	化粧蓋	450 x 450	450H	350	撤去新設
D	雨水汚水兼用	既製品ため樹	コンクリート蓋	450 x 450	500H	350	改修
E	プールサイド雨水排水	既製品ため樹	コンクリート蓋	450 x 450	450H	280	現況のまま
F	プールサイドオーバーフロー汚水	既製品ため樹	化粧蓋	450 x 450	450H	280	撤去新設
G	プール排水弁	弁樹	SUS鋼板蓋（2分割）	1000 x 1000	1500H		新設
H	雨水汚水兼用	既製品ため樹	コンクリート蓋	450 x 450	450H	400	改修
I	プール補給水弁	弁樹	化粧蓋	500 x 500	400H		撤去新設
J	シャワーエリア汚水排水	ホリワレレン製ため樹	300φレジン蓋	300φ	400H	230	撤去新設
K	シャワーエリア汚水排水	ホリワレレン製ため樹	300φレジン蓋	300φ	400H	270	撤去新設
L	シャワーエリア汚水排水トラップ樹	ホリワレレン製トラップ樹	300φレジン蓋	300φ	400H	290	撤去新設
M	シャワーエリア雨水排水	既製品ため樹	格子蓋（グレーチング）350x350	350 x 350	350H	230	撤去新設
N	シャワーエリア雨水排水	既製品ため樹	格子蓋（グレーチング）350x350	350 x 350	350H	270	撤去新設
O	シャワーエリア雨水排水	既製品ため樹	格子蓋（グレーチング）350x350	350 x 350	350H	290	撤去新設
P	プール排水トラップ樹	ホリワレレン製トラップ樹	450φレジン蓋	450φ	600H	300	撤去新設
Q	シャワーエリア汚水排水	既製品インポート樹	450φMHB、防臭防水	450 x 450	600H	320	現況のまま

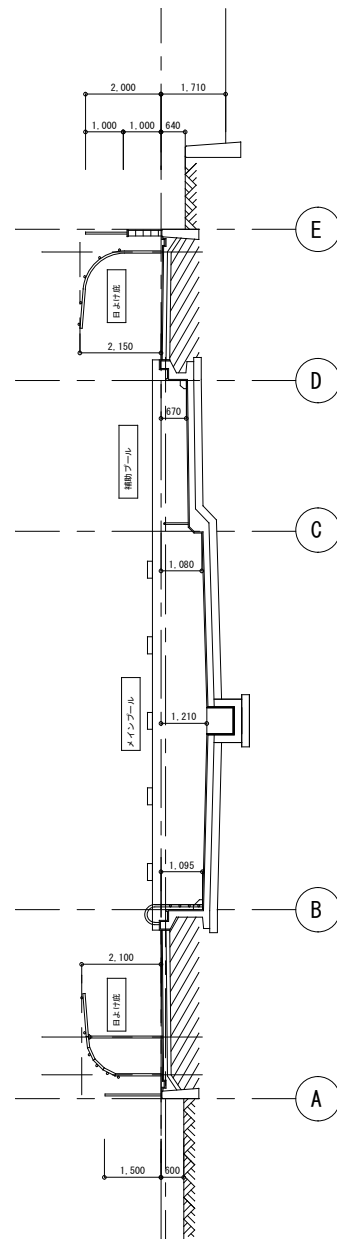
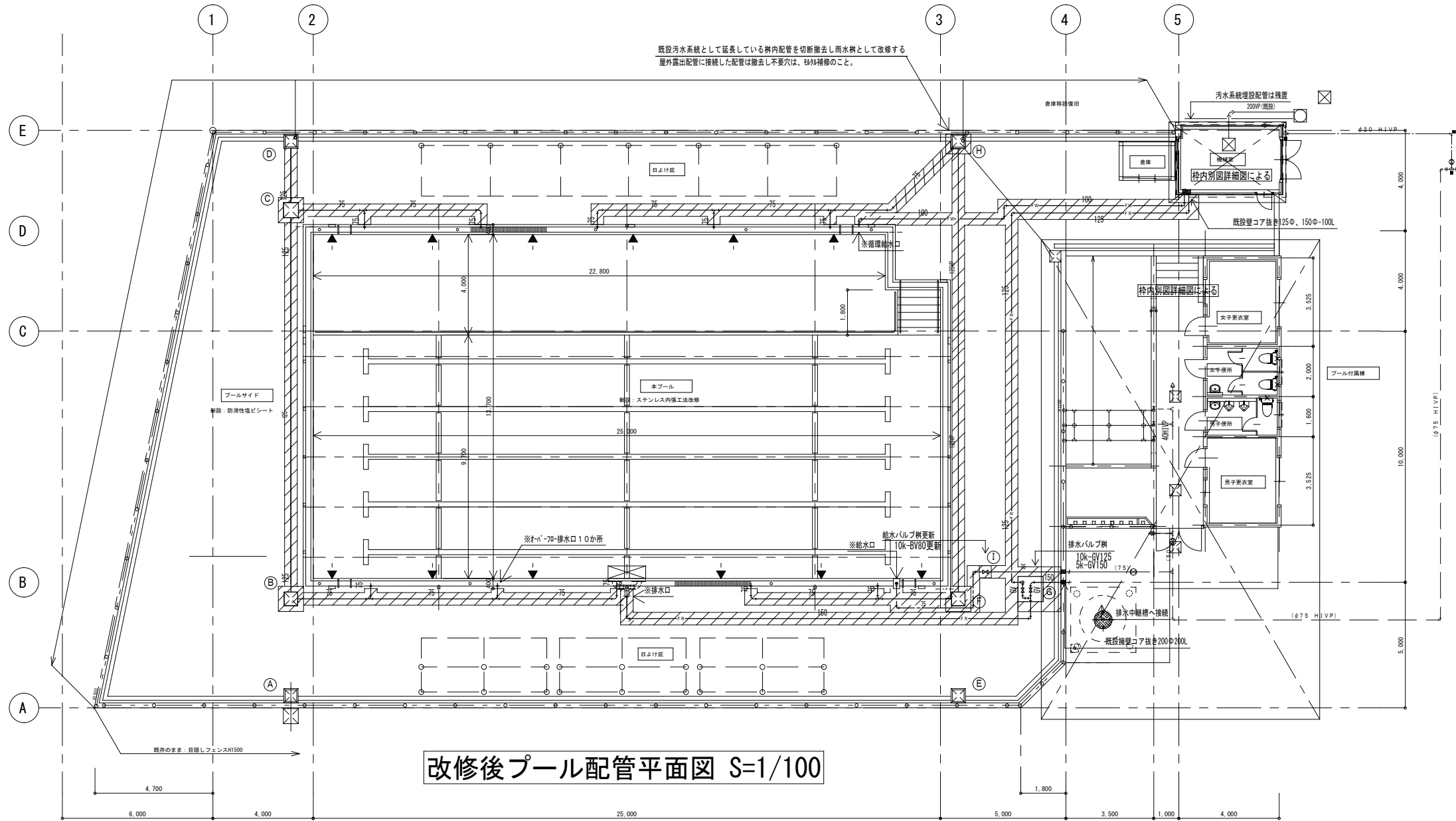
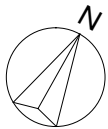
※プールサイド各樹蓋の表面仕上げは建築工事による。

※格子蓋（グレーチング）は素足で歩いても支障がないように表面処理すること。

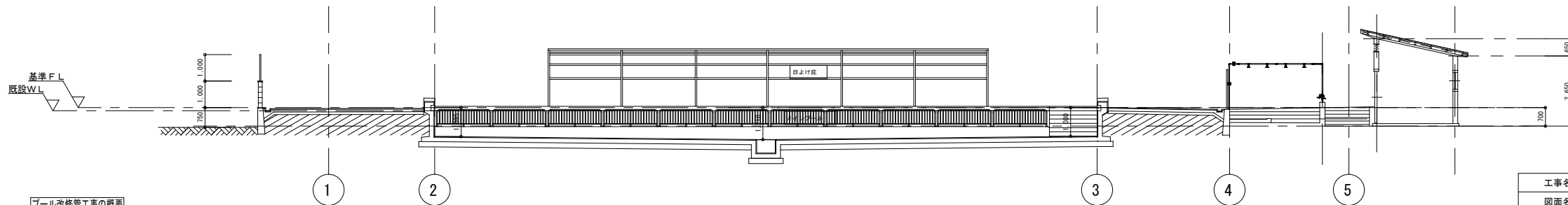
※化粧蓋は参考品番カネソウMSXSM同等品とする。



工事名		岡山市立富山小学校プール長寿命化改修に伴う機械設備工事					No.		
図面名		改修後排水樹リスト、部分詳細図					縮尺		
		A-1/20・1/20・1/20					A-3		
建築	岡山市都市整備局住宅・建築部		公共建築課		令和6年2月		株式会社 建築倶楽部 岡山県知事登録 第 12968 号		
	担当課長	課長補佐	係長	課員	担当者				
							一級建築士 国土交通大臣登録 第 382854 号 林 悠太		
	担当課長	課長補佐	係長	課員	担当者				
設備							承認	検図	製図



改修後プール配管平面図 S=1/100



プール改修工事の概要

- 1: プール改修工事
プールをSUS水槽に更新する工事の付属配管更新、ろ過機更新
- 2: シャワー周り更新
既設シャワー周り及び手洗い場周りの配管更新と器具の更新
- 3: 衛生器具更新
男女便所の衛生器具を更新する。和風便器1組は洋風化する。
- 4: 汚物移送ポンプ更新
中継ポンプ槽の汚水汚物移送ポンプ更新

配管凡例

記号	用途	管材
→	濾過循環配管 (往)	HPPE
←	濾過循環配管 (還)	HPPE
→	給水管	HPPE
→	排水管	VP
←	循環ノズル (建築工事)	

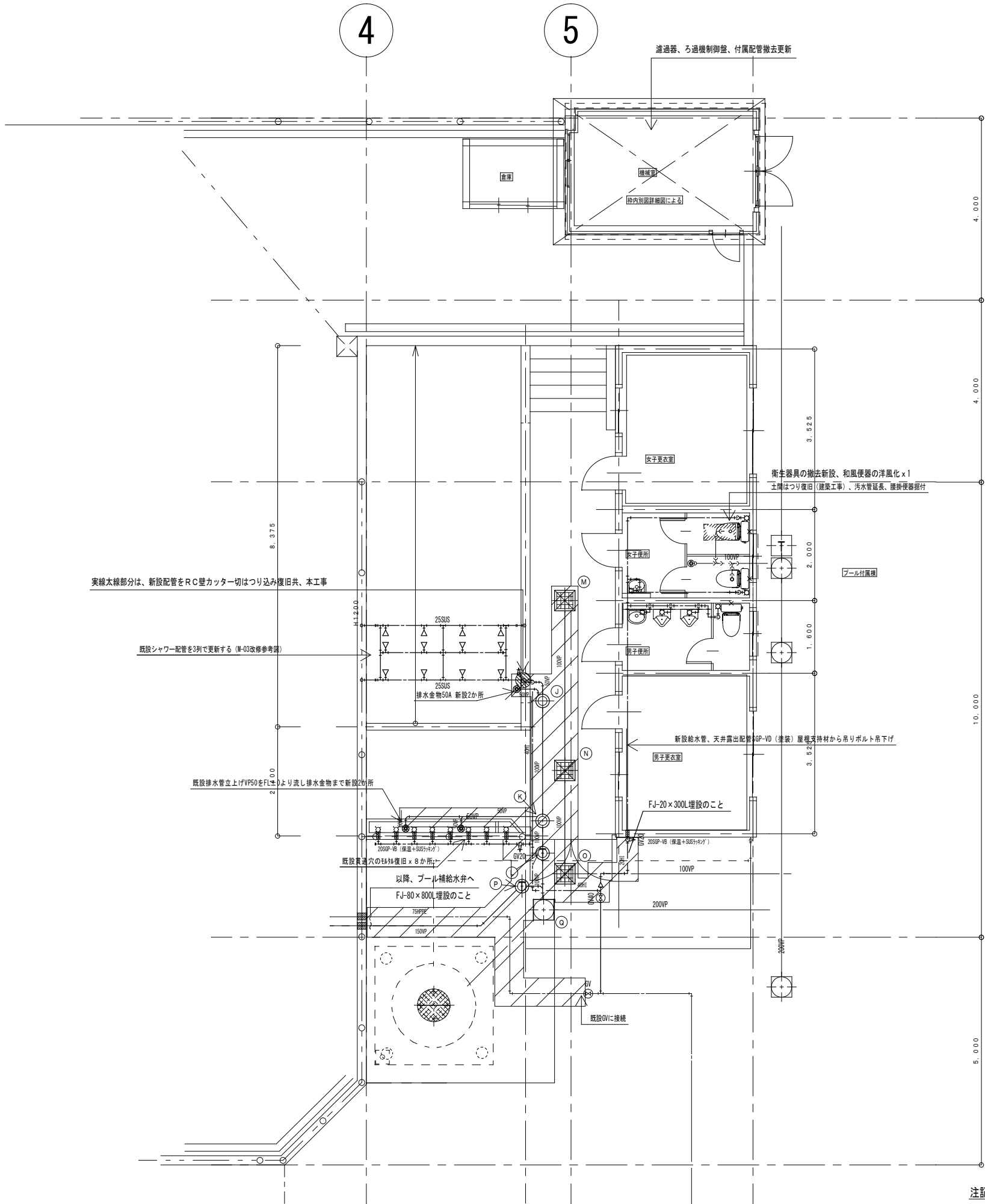
注記1) 図中、太線表示の機器、配管類、盤及び配線を新設及び改修する。

注記2) ハッチング部分は建築工事の斫り復旧を示す。土間下土工事は、本工事とする。

注記3) ※を付したプール接続配管は、当該サイズのT Sフランジ (本工事) オーバー5 k、循環10 kによる。

注記4) プールサイド、プールオーバーフロー排水は、雨水系統、プール底排水は汚水排水系統として処理すること。

工事名		岡山市立富山小学校プール長寿命化改修に伴う機械設備工事				No.		
図面名		改 修 後 プール 配 管 平 面 図 縮尺				M - O 4		
		A-1 1/100 A-3 1/200						
		岡山市都市整備局住宅・建築部 公共建築課				令和6年2月		
建 築	担当課長	課長補佐	係長	課員	担当者		株式会社 建築倶楽部 岡山県知事登録 第 12968 号	
							一級建築士 国土交通大臣登録 第 382854 号	
							林 悠太	
設 備	担当課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

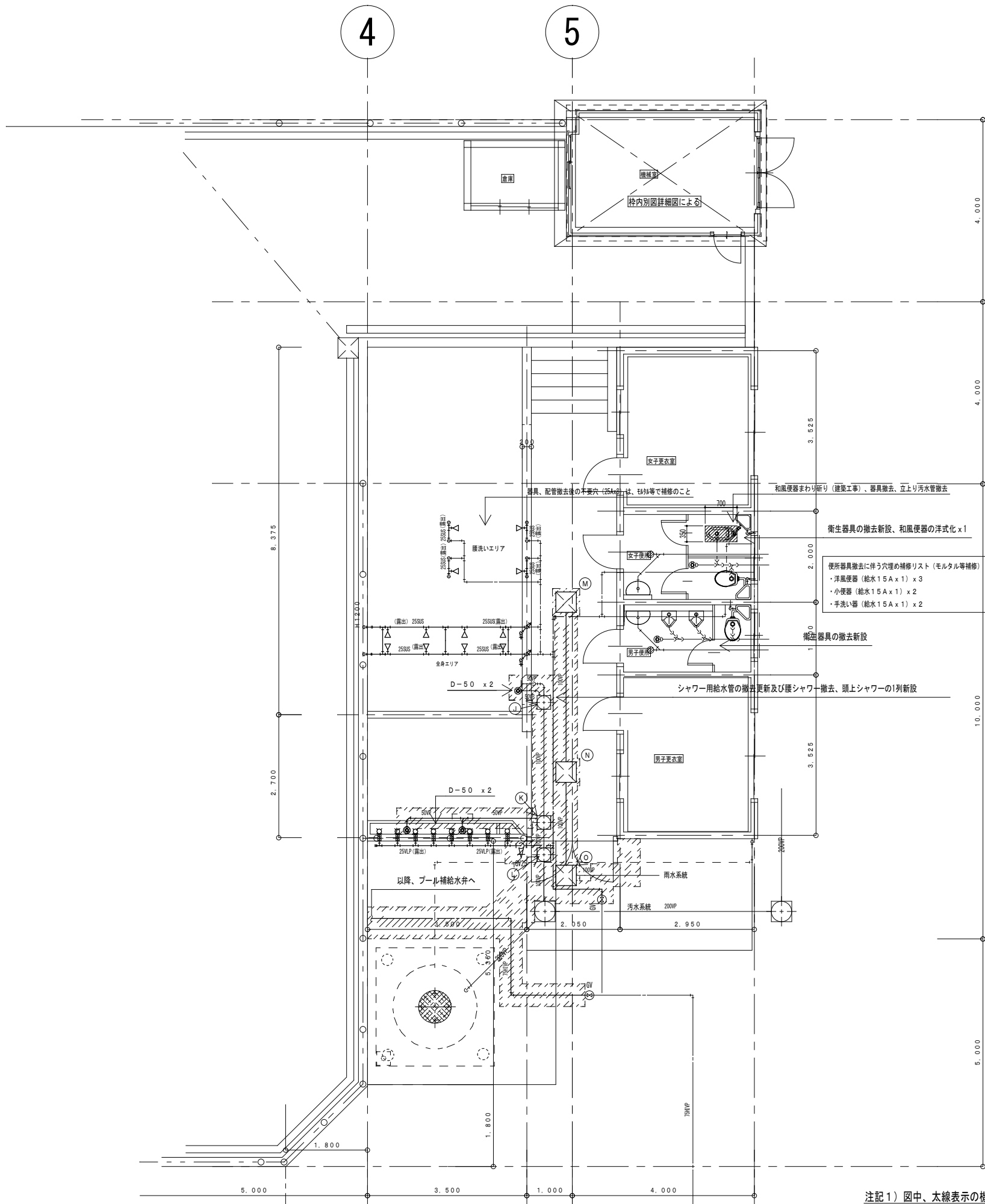


改修後プール付属棟配管詳細図 S = 1 / 50

衛生器具表（改修後）								
器 具 名	参考型番	付属品	合計	プール棟				機械室
				女子便所	男子便所	シャワーエリア	手洗い場	
床置床排水大便器	CS597BMS	SH596BAR (密結タンク), TC291 (普通便座), HP4307 (床排水フランジ (75塩ビ管用)) YH702 (棚付二連紙巻器)	3	2	1			床排水アジャスター付
床置床排水小便器	U508C	T600PN (小便器フラッシュバルブ), TN117 (小便器用洗浄管), HP510M (床排水ソケット (リモデル用))	2		2			
壁掛手洗器	L30D	TL19AR (自閉式立水栓), T22BP (壁排水金具), TL40FU (アングル形止水栓), TL220D (バックハンガー)	2	1	1			
一般鏡	YM4560A	450x600	2	1	1			
オーバーヘッドシャワー	TB18AR		12			12		
横水栓	T200BSQ13C		8				8	
横水栓	T28ANH13							1

注記 1) 図中、太線表示の機器、配管類、盤及び配線を新設及び改修する。
注記 2) ハッチング部分は建築工事の所り復旧を示す。土間下土工事は、本工事とする

工事名		岡山市立富山小学校プール長寿命化改修に伴う機械設備工事		No.	
図面名		改修後プール付属棟配管平面図・衛生器具表		A-1 1/50 A-3 1/100	
岡山市都市整備局住宅・建築部 公共建築課		令和6年2月		株式会社 建築倶楽部 岡山県知事登録 第 12868 号	
建 築	担当課長	課長補佐	係長	課員	担当者
設 備	担当課長	課長補佐	係長	課員	担当者
		承認	検図	製図	



女子便所		
手洗器	L-34	1
和風大便器	C-750+S570B、紙巻器	1
腰掛便器	C-21+S570B	1

男子便所		
手洗器	L-34	1
小便器	U-307	2
腰掛便器	C-21+S570B	1

シャワーエリア		
はず型シャワーヘッド		
(腰洗用) 露出配管共	4	
(全身用) 露出配管共	8	

手洗い場 (解体：建築工事)		
ホーム水栓	T200-13	8
流し排水目皿	50Φ	2

既設樹リスト2 樹撤去は、本工事とする。

記号	用途	名称	量	サイズ	深さ	床FL-管底	工事
J	シャワーエリア汚水排水	既製品ため樹	300Φ MH	300 x 300	400H	230	撤去新設
K	シャワーエリア汚水排水	既製品ため樹	300Φ MH	300 x 300	400H	270	撤去新設
L	シャワーエリア汚水排水	既製品ため樹	300Φ MH	300 x 300	400H	290	撤去新設
M	シャワーエリア雨水排水	既製品ため樹	格子蓋 350x350	350 x 350	350H	230	撤去新設
N	シャワーエリア雨水排水	既製品ため樹	格子蓋 350x350	350 x 350	350H	270	撤去新設
O	シャワーエリア雨水排水	既製品ため樹	格子蓋 350x350	350 x 350	350H	290	撤去新設

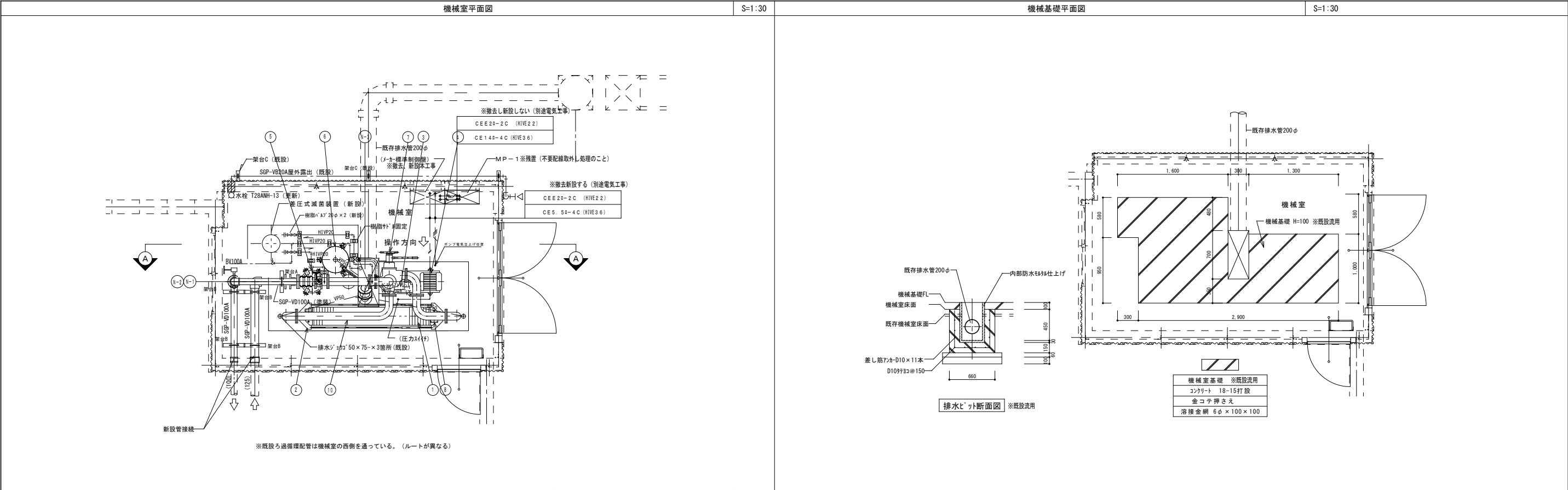
改修前付属棟配管詳細図 S=1/50

注記1) 図中、太線表示の機器、配管類、盤及び配線を撤去する。特記なき埋設配管は、残置する。

注記2) <※ハツリ>はハッチング部分コンクリート舗装撤去改修 (建築工事) 土間コン下土工事は本工事。

工事名	岡山市立富山小学校プール長寿命化改修に伴う機械設備工事					No.		
図面名	改修前付属棟配管詳細図					A-1 1/50 A-3 1/100		
建築	岡山市都市整備局住宅・建築部	公共建築課	令和6年2月			株式会社 建築倶楽部		
	担当課長	課長補佐	係長	課員	担当者	岡山県知事登録 第 12868 号 一級建築士 国土交通大臣登録 第 382854 号 林 悠太		
設備	担当課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

図中の機器、配管類を撤去新設する。



ろ過機操作盤 (参考)

取付架台は既設再利用のこと

工事名		岡山市立富山小学校プール長寿命化改修に伴う機械設備工事				No. M-08		
図面名		機 械 室 改 修 詳 細 図		縮尺 A-1 1/30 A-3				
建 築	岡山市都市整備局住宅・建築部 公共建築課				令和6年2月		株式会社 建築倶楽部 岡山県知事登録 第 12968	
	担当課長		課長補佐	係長	課員	担当者	一級建築士 国土交通大臣登録 第 38265 林	
設 備	担当課長		課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図

機器表

プー ル ろ過設備									
装置No.	装置名称	構成機器					備 考		
		機器名称	機器仕様	電 源					
				相(φ)	電圧(V)	動力(kW)		起動	台数
WF-1	循環ろ過装置 ターン数： 4 回/日 ろ過能力： 60 m3/h 機器質量： 750 kg 運転質量： 1,400 kg	ろ過機本体	可逆式珪藻土ろ過装置 機内配管＝SGP/溶融亜鉛メッキ 口径：機内配管＝100A、100A	－	－	－	－	1	
		ろ過ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 能力：1,200L/min×18mH 材質：ケーシング＝FC200、羽根車＝CAC406 電動機：全閉外扇型 付属品：圧力スイッチ	3	200	5.5	直	1	
		ヘヤーキャッチャー	材質：接液部＝SS/溶融亜鉛メッキ 寸法：φ290×H600 接続口径：125A	－	－	－	－	1	
		スラリータンク	材質：SS/Zn 寸法：φ380×H500	－	－	－	－	1	

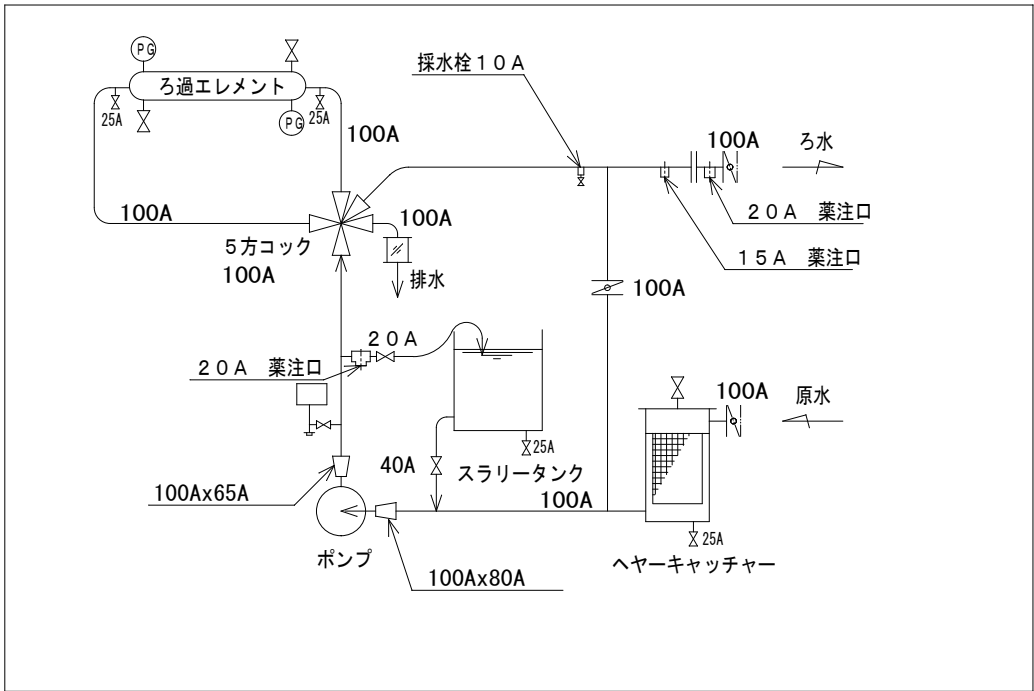
<新設分>

参考型式	(三浦工業) PA60-206
能 力	60 m ³ /Hr
機器重量	750 kg
運転重量	1,400 kg

<既設分>

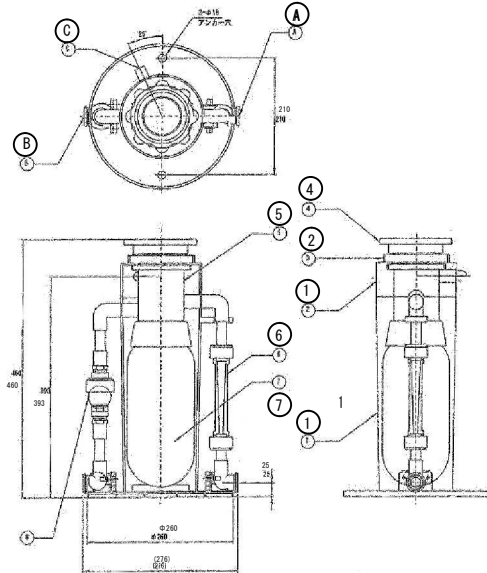
参考型式	(三浦工業) PA60-206
能 力	60 m ³ /Hr
機器重量	750 kg
運転重量	1,400 kg

系統図



プール ろ過設備									
装置No.	装置名称	構成機器						備 考	
		機器名称	機器仕様	電 源					
				相(φ)	電圧(V)	動力(kW)	起動		台数
CP-1	ろ過装置操作盤	操作盤	屋内壁掛型 材質：銅板製 出力信号：一括異常 制御：循環ろ過装置運転	-	-	-	-	1	
(CL-1)	減菌装置	差圧式減菌装置	材質：PC（本体） 寸法：φ260×H460 給水口：R1/2、送水口：R1/2、排水口：13A	-	-	-	-	1	S K C - 2 0（四国化成）相当品

(CL-1)減菌装置参考図



品番	名称	材質	仕様
1	本体容器	PC	
2	ヘッドカバー	PC	
3	ヘッドカバー押さえ	塩ビ	
4	投入口キャップ	塩ビ	
5	ヘッド部	塩ビ	
6	流量計	アクリル	目盛：100～500L/h、20～160L/h
7	ガラス容器	ガラス	2.2L
8	チェックバルブ	塩ビ	15A
A	給水口		給水栓エルボR1/2メネジ
B	送水口		給水栓エルボR1/2メネジ
C	排水口		13Aパイプ

工事名		岡山市立富山小学校プール長寿命化改修に伴う機械設備工事			No.		
図面名		系統図、ろ過機ほか機器表			縮尺		
					A-1 - A-3		
岡山市都市整備局住宅・建築部 公共建築課					令和6年2月		
建 築	担当課長	課長補佐	係長	課員	担当者	株式会社 建築倶楽部 岡山県知事登録 第 12868 号	
						一級建築士 国土交通大臣登録 第 382854 号 林 悠太	
	担当課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図
設 備						製図	